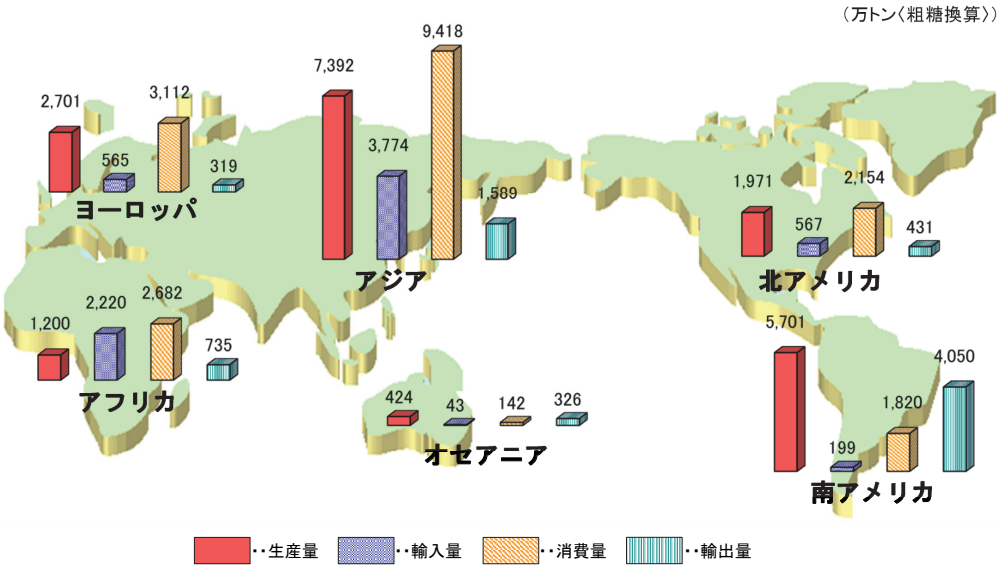
需給動向

砂糖の国際需給

調査情報部

1　世界の砂糖需給（2026年９月時点予測）

図１　絵で見る世界の地域別砂糖需給（2026/27年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, September 2026」を基に農畜産業振興機構作成
注１：年度は、国際砂糖年度（10月～翌９月）。
注２：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表　世界の砂糖需給の推移

（単位：万トン〈粗糖換算〉、％）

年 度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1996/97	5,538	12,645	3,436	11,826	3,727	6,066	51.3
2001/02	6,876	13,707	4,245	13,724	4,460	6,644	48.4
2006/07	6,450	16,522	4,720	15,551	4,985	7,156	46.0
2011/12	5,826	17,659	5,699	16,929	5,898	6,356	37.5
2016/17	7,813	17,959	6,874	17,904	7,077	7,665	42.8
2021/22	8,465	18,639	7,004	18,929	7,122	8,057	42.6
2022/23	8,057	19,067	7,150	19,094	7,166	8,014	42.0
2023/24	8,014	19,541	7,661	19,021	7,708	8,488	44.6
2024/25	8,488	18,919	7,301	18,947	7,384	8,376	44.2
2025/26	8,376	19,325	7,187	19,179	7,255	8,454	44.1
2026/27（2026年９月予測）	8,454	19,389	7,368	19,327	7,450	8,434	43.6

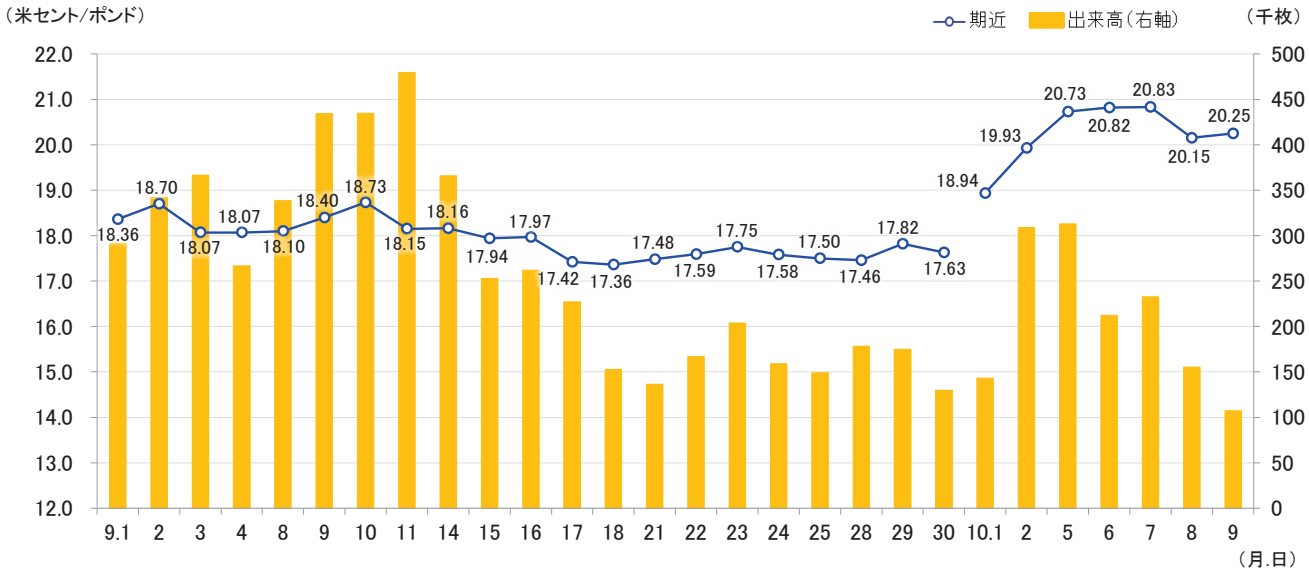
資料：GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, September 2026」
注１：年度は国際砂糖年度（10月～翌９月）。
注２：2024/25年度および2025/26年度の数値は推定値、2026/27年度の数値は予測値。
注３：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。
注４：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2027年１月号の掲載となります。直近の内容は2026年10月号をご参照ください。
「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003626.html
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003640.html

2　国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（9/1 ～ 10/9）
～9月は砂糖需要低迷の懸念から下落圧力が強まるも、10月は天候への不安から上昇基調に～

図　ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：９月は期近10月限の値、10月は期近３月限の値。

2026年9月のニューヨーク粗糖先物相場（10月限）の推移を見ると、２日までは世界的な砂糖供給不足の見通しにより上昇したが、３日以降はインドの砂糖輸入量が予想を下回るとの見通しが下落圧力となり、４日は１ポンド当たり18.07セント（注１）をつけた。８日以降は原油高（注２）などにより上昇し、10日は同18.73セントとなった。11日以降は原油安やレアル安（注３）に加え、ロンドン白糖先物市場（10月限）で過去最大級の受け渡しが発生したことによる砂糖需要低迷の懸念から、18日には17.36セント（注１）まで下落した。21日以降はレアル高やブラジルの天候懸念から上昇に転じたものの、24日以降は砂糖需要低迷の懸念から再び下落傾向となった。29日はEUのてん菜収量減少見通しにより一時的に上昇した後、30日は砂糖需要低迷の懸念から同17.63セントに下落して納会した。

10月に入り期近が３月限に切り替わると、１日は需要回復の兆しから同18.94セントとなった。２日以降もブラジルの降雨による収穫遅れにより上昇し、７日は同20.83セントをつけた。８日は急激な価格上昇に伴う利益確定売りにより一時的に下落したが、９日はエルニーニョ現象による砂糖生産への影響が懸念されたことから、同20.25セントと上昇した。

（注１）１ポンドは約453.6グラム、１米セントは１米ドルの100分の１。
（注２）エタノールの需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの度合いが小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。
（注３）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国であるブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

3　世界の砂糖需給に影響を及ぼす各国の動向（2026年10月時点予測）

以下、特段の断りがない限り GlobalData UK Ltd. による予測に基づく記述であり、砂糖に関する数量は粗糖換算である。

１トン当たりの輸出価格はFOB価格（Free on Board：貨物が輸出国の船上に置かれた時点までの費用を含めた価格）であり、１トン当たりの輸入価格はCIF価格（Cost Insurance and Freight：保険料・運賃込みの価格。関税額等は含まれていない）である。

ブラジル

2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】
収穫面積：899万ha（前年度比1.0%減）
生 産 量：６億9600万トン（同4.4%増）

【砂糖（甘しゃ糖）】
生産量：4361万トン（同6.7%減）
輸出量：3297万トン（同9.7%減）

26/27年度の砂糖生産量はかなりの程度減少見込み

2026/27年度（４月～翌３月）のサトウキビ収穫面積は、899万ヘクタール（前年度比1.0%減）と前年度からわずかな減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、豪雨による収穫遅延が発生しているものの、単収増加が予測されることから、６億9600万トン（同4.4%増）とやや増加すると見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産が予測されるものの、ATR(注)および砂糖への仕向け割合が前年度を下回って推移していることから、4361万トン（同6.7%減）とかなりの程度減少すると見込まれている。なお、エタノールへの仕向け割合は、前年度を上回って推移している。砂糖輸出量は、3297万トン（同9.7%減）とかなりの程度減少すると見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。

（注）１トン当たりの平均回収糖分。ポルトガル語でAçúcar Total Recuperável（総回収可能糖量）の略。

表　ブラジルの砂糖需給の推移

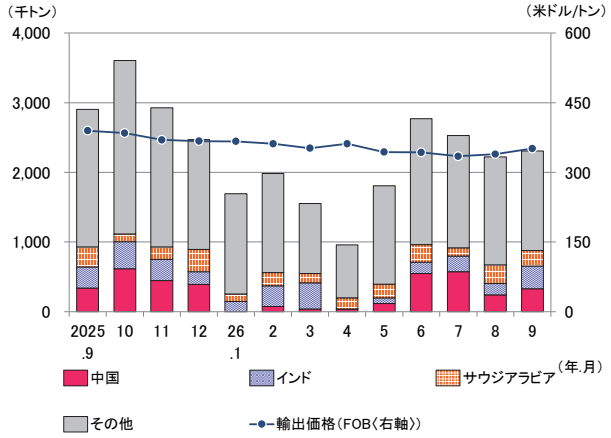
（単位：万ha、万トン、%）

年度		2023/24	24/25	25/26	26/27（９月予測）	26/27（10月予測）	前年度比（増減率）
サトウキビ収穫面積		841	884	908	899	899	▲ 1.0
サトウキビ生産量		71,313	67,868	66,675	69,600	69,600	4.4
砂糖	生産量	4,932	4,719	4,675	4,484	4,361	▲ 6.7
	輸入量	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	25.3
	消費量	1,097	1,075	1,068	1,068	1,065	▲ 0.3
	輸出量	3,739	3,618	3,652	3,416	3,297	▲ 9.7
	期末在庫量	320	347	302	302	302	▲ 0.0
	期末在庫率	6.6	7.4	6.4	6.7	6.9	0.5ポイント増

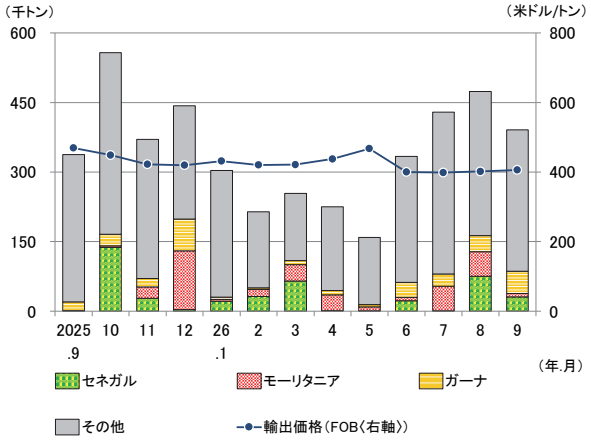
資料：GlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2026」
注１：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。
注２：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」
注１：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注２：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位３カ国・地域を表示。

インド

2026/27年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】
収穫面積：563万ha（前年度比2.2%減）
生 産 量：４億4872万トン（同5.3%減）

【砂糖（甘しゃ糖）】
生産量：3127万トン（同3.5%増）
輸出量：282万トン（同16.8%減）

26/27年度の砂糖輸出量は大幅な減少見込み

2026/27年度（10月～翌９月）のサトウキビ収穫面積は、563万ヘクタール（前年度比2.2%減）と前年度からわずかな減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、モンスーン期の降雨不足により、９月下旬時点の累積降水量が平年を下回っていることから、４億4872万トン（同5.3%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、インド政府が国内市場向けの砂糖供給を優先し、砂糖への仕向け割合の増加が予測されることから、3127万トン（同3.5%増）とやや増加が見込まれている。一方、砂糖輸出量は、当面の間は国内市場向けの在庫確保を優先するため、282万トン（同16.8%減）と大幅な減少が見込まれている。

表　インドの砂糖需給の推移

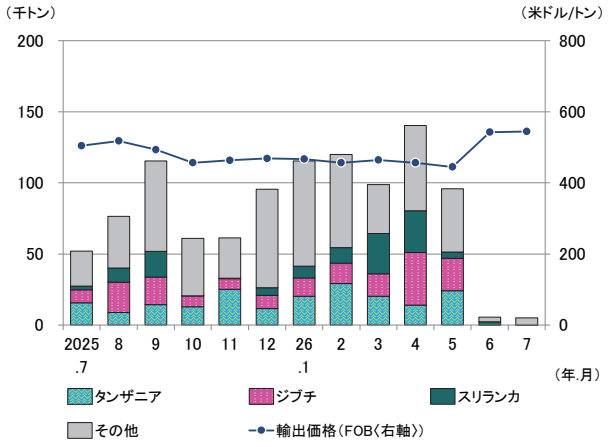
（単位：万ha、万トン、％）

年度		2023/24	24/25	25/26	26/27（９月予測）	26/27（10月予測）	前年度比（増減率）
サトウキビ収穫面積		589	570	575	573	563	▲ 2.2
サトウキビ生産量		48,656	45,060	47,374	46,180	44,872	▲ 5.3
砂糖	生産量	3,446	2,821	3,020	3,273	3,127	3.5
	輸入量	313	280	313	246	277	▲ 11.7
	消費量	3,099	3,024	3,024	3,047	3,047	0.8
	輸出量	438	395	340	246	282	▲ 16.8
	期末在庫量	851	532	502	723	577	14.8
	期末在庫率	24.1	15.6	14.9	21.9	17.3	2.4ポイント増

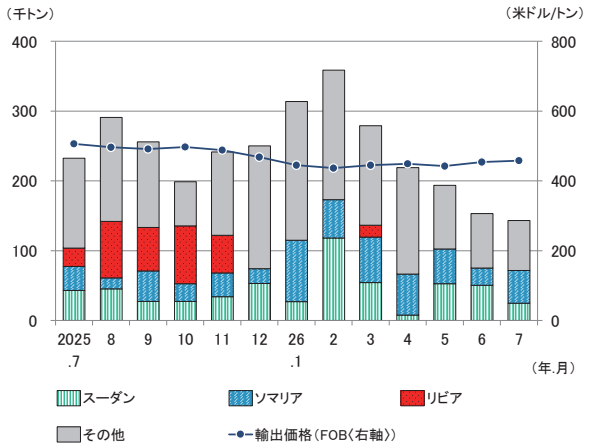
資料：GlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2026」
注１：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。
注２：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」
注１：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注２：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位３カ国・地域を表示。

中　国

2026/27年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】
収穫面積：125万ha（前年度比0.2％増）
生 産 量：9089万トン（同0.5％増）
【てん菜】
収穫面積：19万ha（同20.9％減）
生 産 量：1075万トン（同16.1％減）

【砂糖（甘しゃ糖およびてん菜糖）】
生産量：1407万トン（同0.3％増）
輸入量：280万トン（同46.5％減）

26/27年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2026/27年度（10月～翌９月）のサトウキビ収穫面積は、125万ヘクタール（前年度比0.2％増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、適度な降水量と高収量品種の普及により、9089万トン（同0.5％増）とわずかな増加が見込まれている。

てん菜収穫面積は、主産地である内モンゴル自治区における作付面積の減少などを背景に、19万ヘクタール（同20.9％減）と大幅な減少が見込まれ

ている。てん菜生産量は、作付面積の減少により、1075万トン（同16.1%減）と大幅な減少が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜の減産以上にサトウキビの増産が見込まれているため、1407万トン（同0.3%増）と前年度並みが見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国際相場の上昇により、280万トン（同46.5%減）と大幅な減少が見込まれている。

表　中国の砂糖需給の推移

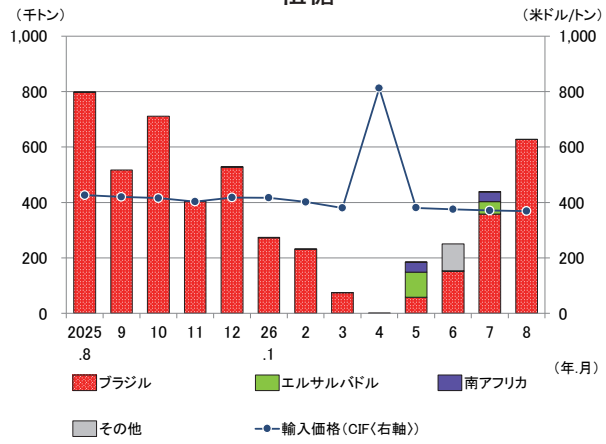
（単位：万ha、万トン、%）

年度		2022/23	23/24	24/25	26/27（９月予測）	26/27（10月予測）	前年度比（増減率）
サトウキビ収穫面積		110	119	125	125	125	0.2
サトウキビ生産量		7,313	7,354	9,041	9,089	9,089	0.5
てん菜収穫面積		17	22	23	19	19	▲ 20.9
てん菜生産量		894	1,346	1,282	1,075	1,075	▲ 16.1
砂糖	生産量	1,076	1,207	1,402	1,408	1,407	0.3
	輸入量	740	647	523	319	280	▲ 46.5
	消費量	1,674	1,692	1,696	1,699	1,699	0.2
	輸出量	18	17	12	14	13	4.9
	期末在庫量	1,543	1,688	1,905	1,924	1,880	▲ 1.3
	期末在庫率	91.2	98.7	111.6	112.3	109.9	1.7ポイント減

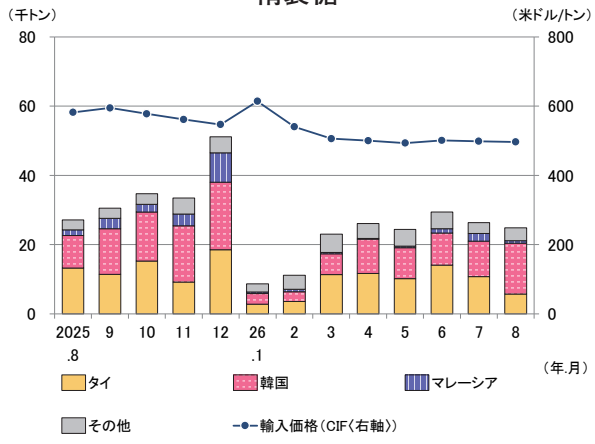
資料：GlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2026」
注１：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。
注２：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」
注１：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注２：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位３カ国・地域を表示。
注３：26年４月の粗糖輸入量は、千トン未満。

E　U

2026/27年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】
収穫面積：126万ha（前年度比9.8%減）
生 産 量：8865万トン（同20.5%減）

【砂糖（てん菜糖）】
生産量：1351万トン（同22.2%減）
輸入量：214万トン（同10.0%増）

26/27年度の砂糖生産量は大幅な減少見込み

2026/27年度（10月～翌９月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるドイツを中心に減少が見込まれることから、126万ヘクタール（前年度比9.8%減）と前年度からかなりの程度減少すると見込まれている（表）。てん菜生産量は、特にビートベルト(注)の北西部において降水量が極端に少ないことに加え、気温が平年を上回っていることから、8865万トン（同20.5%減）と大幅な減少が見込まれている。また、天候の影響に加え、病害によって深刻な被害を受けた圃場（ほじょう）では、収穫が断念される可能性もあるとしている。

砂糖生産量は、高温・乾燥の影響が大きいフランスやドイツなどにおけるてん菜の収量予測が引き下げられたことにより、1351万トン（同22.2%減）と大幅な減少が見込まれている。砂糖輸入量は、砂糖の減産を背景に、214万トン（同10.0%増）とかなりの程度増加すると見込まれている。

（注）フランス北西部や英国南部からポーランドやリトアニアにかけて広がるてん菜栽培に適した地域のこと。「シュガーベルト」とも称される。

表　EUの砂糖需給の推移

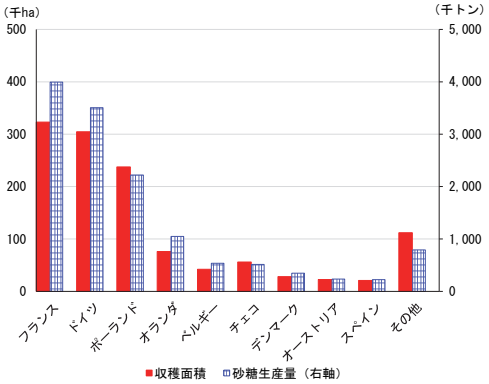
（単位：万ha、万トン、%）

年度		2022/23	23/24	24/25	26/27（９月予測）	26/27（10月予測）	前年度比（増減率）
てん菜収穫面積		145	157	140	126	126	▲ 9.8
てん菜生産量		10,990	11,650	11,151	8,968	8,865	▲ 20.5
砂糖	生産量	1,626	1,708	1,736	1,354	1,351	▲ 22.2
	輸入量	220	148	195	235	214	10.0
	消費量	1,633	1,630	1,652	1,650	1,652	0.0
	輸出量	209	204	195	90	90	▲ 53.7
	期末在庫量	196	217	301	155	124	▲ 58.7
	期末在庫率	10.6	11.8	16.3	8.9	7.1	9.2ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2026」
注１：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。
注２：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

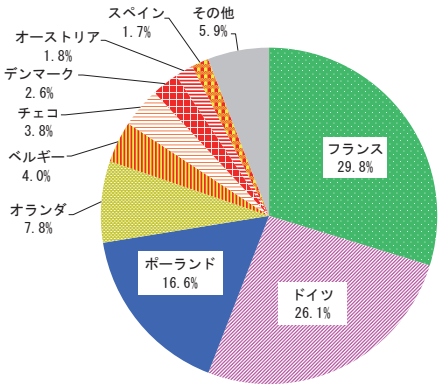
（参考）EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し（2026/27年度）（2026年８月時点）

砂糖生産量



資料：欧州委員会
注１：精製糖換算。
注２：数値は予測値。

国別生産割合



資料：欧州委員会

４　日本の主要輸入先の動向（2026年10月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しゃ糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しゃ糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2025年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.7%（前年比0.5ポイント増）、タイが9.3%（同0.4ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪　州

2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】
収穫面積：35万ha（前年度比0.3%増）
生 産 量：2799万トン（同2.9%減）

【砂糖（甘しゃ糖）】
生産量：407万トン（同3.9%増）
輸出量：309万トン（同3.4%増）

26/27年度の砂糖輸出量はやや増加見込み

2026/27年度（４月～翌３月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.3%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、７月の降雨により平年よりも収穫作業が遅れているため、2799万トン（同2.9%減）とわずかな減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの品質が良好でCCS（注）が前年よりも向上していることから、407万トン（同3.9%増）とやや増加が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産に加え、アジア地域を中心に引き続き堅調な需要が見込まれることから、309万トン（同3.4%増）とやや増加が見込まれている。

（注）Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表　豪州の砂糖需給の推移

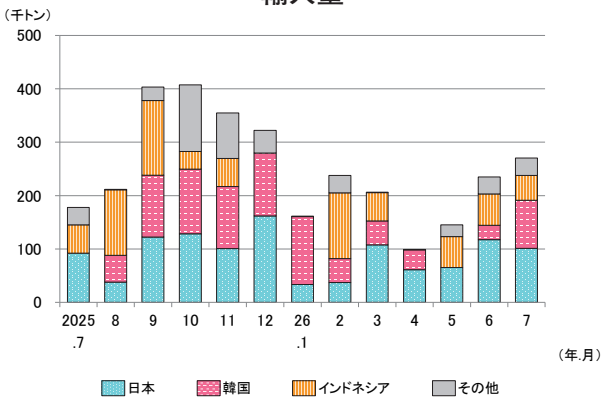
（単位：万ha、万トン、％）

年度		2023/24	24/25	25/26	26/27（９月予測）	26/27（10月予測）	前年度比（増減率）
サトウキビ収穫面積		34	32	34	35	35	0.3
サトウキビ生産量		2,986	2,880	2,882	2,794	2,799	▲ 2.9
砂糖	生産量	413	391	392	405	407	3.9
	輸入量	1.0	1.4	0.6	1.0	1.0	69.9
	消費量	97	98	98	98	98	0.5
	輸出量	370	290	299	308	309	3.4
	期末在庫量	45	50	45	45	46	1.3
	期末在庫率	9.6	12.8	11.4	11.1	11.3	0.1ポイント減

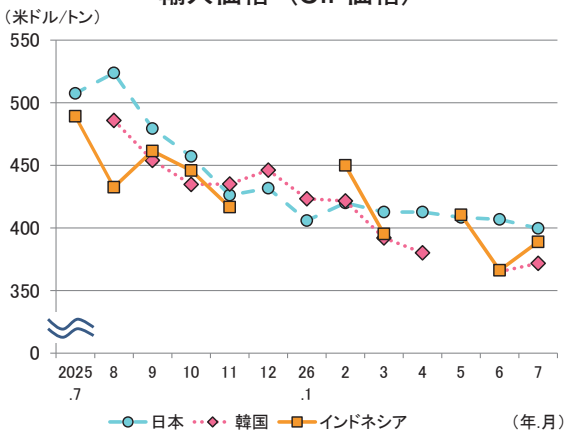
資料：GlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2026」
注１：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。
注２：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格（CIF価格）



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2026」、輸入価格は「Global Trade Atlas」
注１：HSコード1701.14（粗糖）の数値。
注２：直近13カ月（累計）の上位３カ国・地域とその他の輸入量を表示。
　　その他は上位３カ国・地域を除いた国・地域の合計。
　　ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。
注３：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。
注４：韓国の25年７月、26年５月の輸入量は実績なし。
注５：インドネシアの25年12月、26年１月、４月の輸入量は実績なし。

タ　イ

2026/27年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】
収穫面積：151万ha（前年度比4.0％減）
生 産 量：9200万トン（同13.1％減）

【砂糖（甘しゃ糖）】
生産量：1061万トン（同16.0％減）
輸出量：822万トン（同2.5％減）

26/27年度の砂糖輸出量はわずかな減少見込み

2026/27年度（10月～翌９月）のサトウキビ収穫面積は、151万ヘクタール（前年度比4.0％減）と前年度からやや減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、26年１月以降の累積降水量が平年を下回るなど、乾燥した天候がサトウキビの生育不良を引き起こしていることから、9200万トン（同13.1％減）とかなり大きな減少が見込まれている。

また、サトウキビ生産者は、１）価格上昇に伴う肥料の購入意欲および使用量の減少、２）燃料費の高騰に伴う機械収穫の経費増加、３）キャッサバ価格の上昇―といった問題に直面しており、27/28年度の作付面積に影響を及ぼす可能性が指摘されている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産により、1061万トン（同16.0%減）と大幅な減少が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の減産を背景に822万トン（同2.5%減）とわずかな減少が見込まれている。

表　タイの砂糖需給の推移

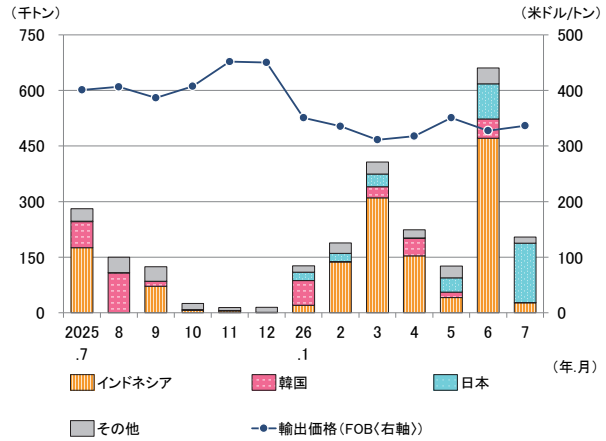
（単位：万ha、万トン、%）

年度		2023/24	24/25	25/26	26/27（９月予測）	26/27（10月予測）	前年度比（増減率）
サトウキビ収穫面積		148	154	157	151	151	▲ 4.0
サトウキビ生産量		8,217	9,204	10,586	9,100	9,200	▲ 13.1
砂糖	生産量	932	1,058	1,263	1,062	1,061	▲ 16.0
	輸入量	25	36	2	2	2	0.0
	消費量	329	333	336	337	337	0.4
	輸出量	589	680	843	790	822	▲ 2.5
	期末在庫量	295	375	461	378	365	▲ 21.0
	期末在庫率	32.1	37.1	39.1	33.5	31.5	7.7ポイント減

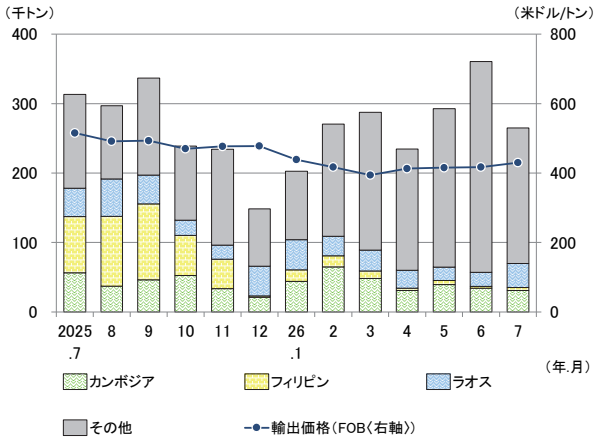
資料：GlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2026」
注１：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。
注２：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」
注１：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注２：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位３カ国・地域を表示。